

## 東京都立大学附属高等学校同窓会

### 2021(令和3)年度上期「理事・監事・評議員会議」議事録

例年なら6月末または7月初めに開かれるはずの上期「理事・監事・評議員会議」ですが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため中止いたしました。

今回も議案書をメールおよび郵便により配布して、ご意見、質問、提案をメール・郵便・FAX で募ることとし、7月31日の Zoom 会議をもって、上期「理事・監事・評議員会議」に代えることとしました。

#### 議案1 2020(令和2)年度事業報告(2020. 4. 1~2021. 3. 31)

2020年度の同窓会活動は、新型コロナウイルス感染症予防のため、6月30日付で会報を発行した以外、ほぼすべて中止、凍結状態となりました。

①第6回「八雲が丘ホームカミングデー」 中止、次年度へ順延

②第8回「八雲が丘賞」 授賞なし、次年度に持ち越し

③会報発行 6月30日付

印刷部数 9,000部 発送数 国内会員8,143部、特別会員(恩師)155部  
海外在住会員96部(コロナで保留3、PDF 送信1)  
桜修館職員、PTA 役員、生徒に200部配布

④八雲が丘学友会 前年度2020年2月15日の開催を最後に、2020年度の会議開催はなく、2021年2月13日に Zoom ミーティングを実施。

⑤会議

2020年5月14日 2019年度会計監査

2020年7月4日 2020年度上期「理事・監事・評議員会議」中止、メール審議に。

2021年1月31日 2020年度下期「理事・監事・評議員会議」中止、メール審議および  
2月28日に Zoom ミーティングを実施

#### 議案2 2020(令和2)年度決算報告、監査報告及び決算承認の件

<同窓会報11ページ「事務局インフォメーション」参照>

ホームカミングデー、記念祭、八雲が丘賞などが中止となったため、関連支出がゼロとなったほか、会議も行われなかったことにより、結果的に収支が約35万円の黒字となった。会費の払い込み数は、コンビニでの納入を可能としたため大きく伸びたが、その分収納代行手数料がかかることとなっている。手数料支出を抑えるため、自動振り替えの導入を検討する必要がある。

#### 議案3 2021(令和2)年度事業計画(2021. 4. 1~2022. 3. 31)

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、同窓会行事、桜修館行事ともに大きな支障、変更、が生じました。今年度も年度初めからコロナ対応により活動が制限され、7月12日には4回目の緊急事態宣言が出るなど、今後の活動は大きく制約されることが想定されます。現時点での事業計画は、以下のように考えています。

① 会報の発行(2021年6月30日発行済)

A4版・12ページ・オールカラー

印刷部数 9,000部

発送部数 国内会員 8,028部、 特別会員 152部、 海外在住会員 85部

桜修館教職員・PTA・生徒に配布200部

桜修館同窓会役員へ配布50部用意

今回の会報は、例年の報告特集がなかったため、同窓生からの寄稿が中心となったが、なかなか面白かったと好評だった。

② 名簿の管理(2021年7月11日現在)

会員総数 会員14,350名 (重複が3名見つかり前回より3名減)

特別会員(恩師)296名

住所判明会員 8,284名 (海外在住85名、会報受け取り拒否60名、特別会員との重複2名を含む)

死亡 755名、 住所不明 5,423名(特別会員との重複1名)

住所判明特別会員(恩師) 152名 死亡 71名 住所不明 73名

③ 第73回記念祭の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年9月の第72回記念祭は中止され、今年は第73回として実施される見通しとなった。

9月11日(土)、12日(日)の両日開催されるが、閉祭式については行われぬ模様。

同窓会としては、例年通り同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展し、旧制以来の資料や写真の展示、年表の掲出などを行う。合唱イベントは行わない。

前日の9月10日(金)に設営、準備を行う。

④ 第8回「八雲が丘賞」

現在選考中の桜修館より候補の提示を受け、持ち回り理事会で決定する。桜修館の校長以下の体制が変わったので、推薦の依頼を再度行う。

⑤ 八雲が丘学友会

学友会の会議は、5月15日に大きな教室で相互の距離をとり、久方ぶりに開催された。

桜修館の鳥屋尾校長、馬飼野副校長が4月異動で転出され、石崎規生校長、松本桂副校長が着任している。桜修館の体制が大きく変わったため、学校と同窓会の了解事項など改めて確認する必要がある。

桜修館の現況は、クスマッチは今年も中止、部活動も原則禁止。生徒の登校は3分の2ずつで、残りはオンライン授業となっている。

⑥ 「八雲が丘ホームカミングデー」

昨年、第20期生と第45期生が対象の第6回が中止となったが、本年度の開催も難しい状況にある。コロナが治まっていれば、20期、45期と21期、46期を合同で開催する予定だったが、現下の感染状況では会場の問題も含め不可能と言わざるを得ない。対象期の皆さんには、別途お知らせを発送する。

来年、20期、21期、22期、45期、46期、47期および卒業後10年の桜修館1期の皆さんを一堂に招いて、大ホームカミングデーを開催することにしたい。構想としては桜修館のメインアリーナを記念式典会場として、都大附高合計6期と桜修館1期の計7期を一堂に会する形にしたらどうか。問題は、校内見学と懇親会の会場をどうするか。

⑦ 「八雲が丘文庫」の再整備

新たに寄贈のルールを明らかにして、寄贈本の受け入れを再開することで桜修館と合意したが、桜修館内部の情報共有が不十分なため円滑な寄贈受け入れに至っていない。  
また、同窓会側の担当者が未定のため、受け入れた寄贈分の処理が滞っている。早急な対応が必要である。担当者2名の決定、ステッカー(ラベル)の作成、メモリアルルームの整備などを行う。

寄贈本は卒業生だけでなく、先生の著作も受け入れている。

⑧同窓会定期通常総会の延期

コロナ対応のため、3年に1回の通常総会を来年に延期することとしている。通常総会の延期の規定は会則にはないが、緊急的措置である旨会員には会報1面で告知した。

総会の開催にあたっては、終了後に懇親会を行うことも必要なのではないかと考えている。

⑨ 会議・行事予定

2021年5月12日 2020年度会計監査

7月4日 2021年度上期「理事・監事・評議員会議」=中止

7月31日 理事・監事・評議員 Zoom ミーティング

9月11日・12日 第73回記念祭

未定 第8回「八雲が丘賞」表彰式

2022年1月30日 2021年度下期「理事・監事・評議員会議」

3月中旬 同窓会報編集委員会

⑩ 2021年度役員 (同窓会報11面「事務局インフォメーション」参照)

**議案4 2021(令和3)年度予算案承認の件**

予算案<別紙「2021年度予算書」参照>

収入に関しては、会費納入会員数が少しずつ増えていることから、今年度は前年度実績比20人増の1300人と想定している。

支出は、前期実績比15万円ほどのプラスを予算化している。ホームカミングデー費は、今年度の中止と来年度への延期のお知らせ用。記念祭費の中の表彰金は、第8回「八雲が丘賞」の記念品代。会議交際費は、今期は若干の予算を設定。会報費は例年並み。会費収納にともなう支払い手数料については圧縮できないか再度検討するが、前年並みを予算化した。

以 上

## 2021年度予算書

2021年4月1日～2022年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)
I、経常収益	
1、受取会費	2,600,000
2、寄附金	20,000
2、DVD等販売収入	3,000
2、利息収益	20
経常収益計	2,623,020
II、経常費用	
1、会報費	
会報原稿作成費	135,000
会報印刷製本料	900,000
会報通信運搬費	850,000
会報費計	1,885,000
2、ホームカミングデー費	
懇親会費収入	-
懇親会費支出	-
案内送付先作成送付費用	35,000
会場等賃借料	-
HCD雑費	20,000
ホームカミングデー費計	55,000
3、記念祭費	
通信運搬費	-
表彰金	100,000
記念祭雑費	50,000
記念祭費計	150,000
4、経常管理費	
旅費交通費	2,000
通信運搬費	15,000
支払手数料	250,000
会議費交際費	30,000
消耗品費	5,000
雑費	-
経常管理費計	302,000
経常費用計	2,392,000
当期正味財産増減額(経常損益)	231,020

人  
**1300** 会費支払者  
 8250 会報送付者  
 15.8% 比率